



磐 梯

BANDAI AREA

大噴火の遺産 自然の芸術

1. 磐梯山に表と裏の顔を与えた約140年前の噴火
2. 噴火で生まれた湖沼群
3. 五色沼の色を決めるのは空?風?それともコケ?

火山が育む恵みと試練

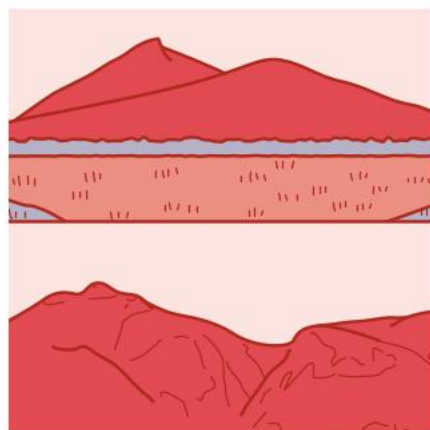
4. 磐梯の兄弟火山が育んだ名水
5. 2度の噴火が裏磐梯の変化に富む生態系を作った
6. 大噴火で失われた記憶と再生 磐梯山が育む癒やしの温泉地

磐梯山と共に生きる人々の歴史と文化

7. 神の山としての磐梯山 神仏融合が生み出した地域文化
8. 火山の脅威を乗り越えて命を守り、森を甦らせた人々
9. 地下に眠る古の海水が会津山塩となり蘇る 復活した伝統の山塩作り

火山・湖沼の国に飛び込む

10. 水面を漕ぎ雪原を駆ける 磐梯二つの季節

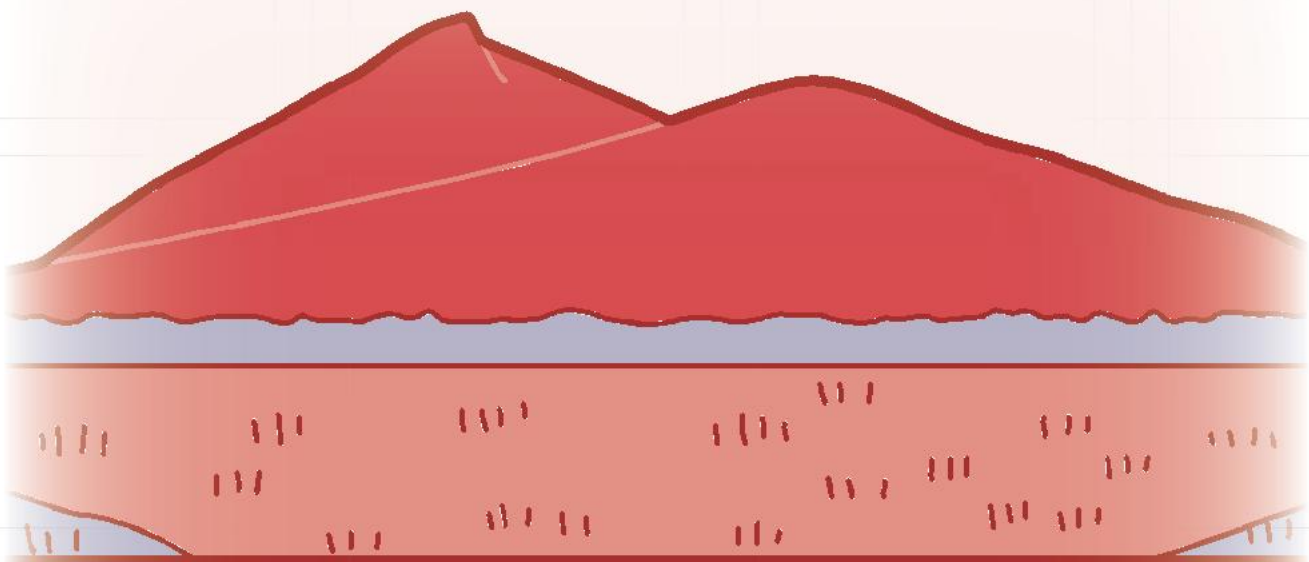


磐梯山に表と裏の顔を与えた
約140年前の噴火

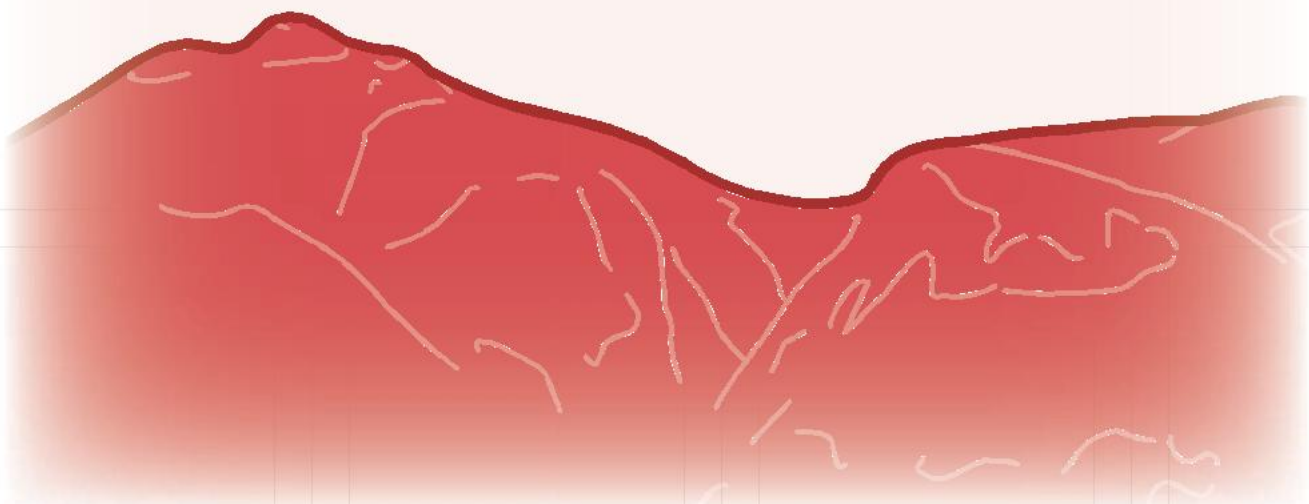
磐梯山は、主峰の大磐梯、櫛ヶ峰、赤埴山の三つの山体からなる成層火山です。「日本の地質百選」・「日本ジオパーク」に認定される地域の誇りの山です。かつては「天に掛かる岩の梯子」を意味する「いわはしやま」と呼ばれていました。

磐梯山は、約5万年前の噴火によって、現在の山体が形成されました。さらに、1888年の噴火によって、北側に大きく開いた新たな爆裂火口が形成されています。このときに発生した山体崩壊や岩なだれの痕跡は、現在も流れ山地形として確認できます。この噴火の影響により、磐梯山は北側と南側で異なる印象的な景観を呈しています。

南側から見る表磐梯



北側から見る裏磐梯





オススメの場所や体験



裏磐梯側の流れ山地形

1888年に起きた山体崩壊では裏磐梯の広い範囲で岩屑なだれが発生、流れ山地形が形成されました。川はせき止められ、小野川湖や秋元湖、松原湖、曾原湖、五色沼湖沼群など、多くの湖沼を誕生させました。

見る/



爆裂火口壁

1888年の噴火で出現した火口壁では、磐梯山の過去の噴火の歴史を伝える、いくつもの地層の重なりを見ることができます。上半分には、安山岩の溶岩と火山灰などとの境界部に、ゆるく傾いた複数の線が見えます。岩石が角張って見える部分は溶岩です。



見る/



銅沼(あかぬま)

爆裂火口の中心部に位置する沼です。湖底に水酸化鉄を含む赤い泥がたまっているため、赤茶けて見えます。鉄やアルミニウム、マンガンなどの金属イオンが大量に溶け込んでおり、強酸性の水質です。



見る/



流れ山地形

大規模な山崩れによって流下した膨大な岩石や土砂が堆積し、山麓や平地にこれらが積み重なって多数の小丘が分布する地形のことです。磐梯山噴火記念館3Dワールド南側の駐車場にある流れ山の露頭では、流れ山内部の構造を観察することができます。

■表磐梯側の流れ山地形(山湖台から)



大噴火の遺産
自然の芸術

噴火で生まれた湖沼群

1888年の噴火により、磐梯山北側にあった小磐梯が山体崩壊を起こしました。このとき発生した岩なだれが川をせき止め、桧原湖・小野川湖・秋元湖・曽原湖などの湖や五色沼湖沼群など、数百もの湖沼が形成されました。複雑に入り組んだ入り江や、湖面に点在する島々が織りなす景観は、今や裏磐梯を象徴する美しい風景となっています。

現在、これらの湖沼群は、自然探勝やキャンプ、釣りなどの観光レクリエーションの場として親しまれているほか、内水面漁場や水力発電の貴重な水資源としても活用されています。





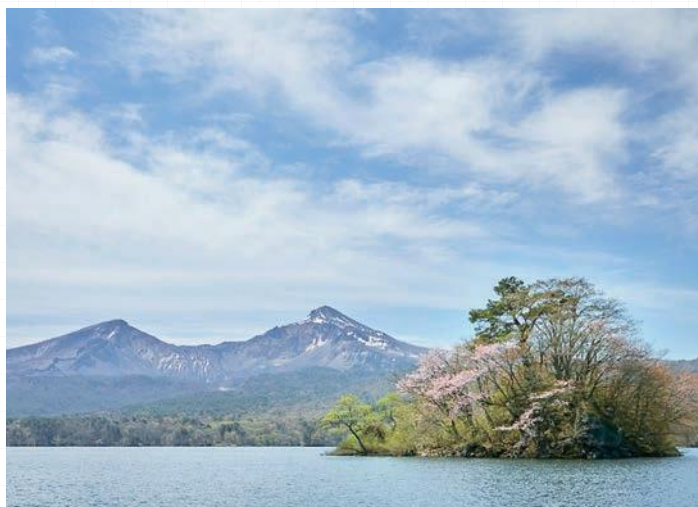
オススメの場所や体験

体験/



01 桧原湖

長さ10km、湖岸線は37kmと裏磐梯湖沼群で最大の湖です。桧原湖の周辺にはキャンプ場や自然探勝路が整備されているほか、遊覧船で湖上からの眺めも楽しむことができます。冬期には凍結した湖上でワカサギ釣りができます。



自然/



02 小野川湖

南岸の道路沿いにはカラマツ林が広がり、秋には黄金色に輝くカラマツと紺碧の湖は絶景です。西吾妻山からの水や桧原湖の水を集めているため、プランクトンや底生動物が比較的多く生息しています。



自然/



03 秋元湖

桧原湖に次ぐ大きさの東西に長い湖。湖岸に多くの種類のヤナギ類が生育しています。吾妻連峰からの水と桧原湖・小野川湖など裏磐梯にある多くの湖からの水が集まります。

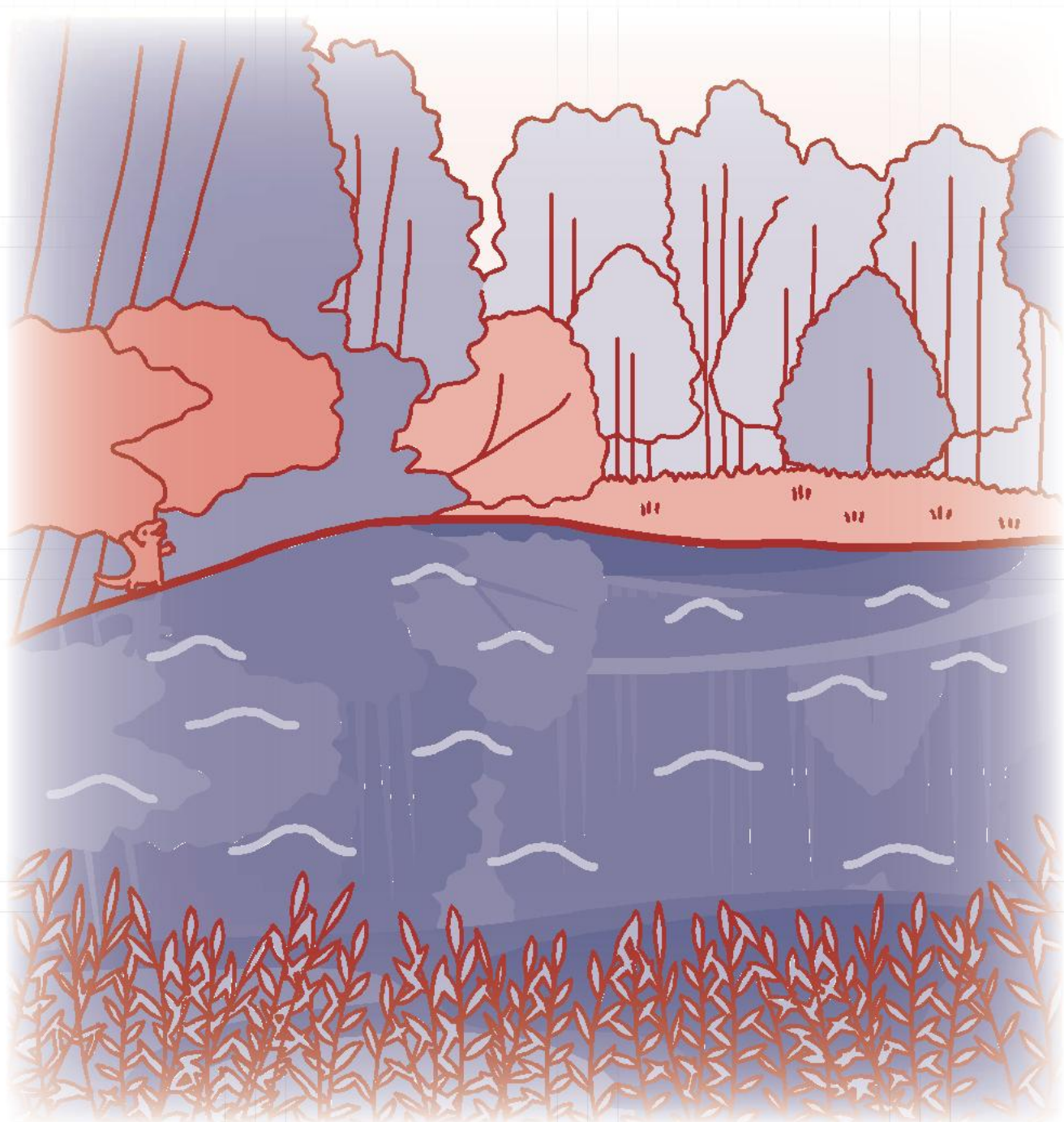


五色沼の色を決めるのは 空？風？それともコケ？

1888年の磐梯山噴火によって形成された湖沼群。その中でも特に人気が高いのが、桧原湖の南東に点在する数十の湖沼からなる「五色沼(ごしきぬま)湖沼群」です。

五色沼は沼ごとに水質が微妙に異なり、水中に浮遊・沈殿する鉱物や微生物もそれぞれ異なります。そこに太陽光の強さや角度、水深といった条件が加わることで、沼ごとに多彩な色彩を放つのです。さらに、同一の沼であっても、気象条件などによってその表情を刻々と変えていきます。

豊かな色彩が織りなす五色沼湖沼群の景観は、まさに偶然が生んだ自然のアートであり、今も多くの人々を魅了しています。





■五色沼湖沼群 弁天沼

体験/



五色沼自然探勝路

五色沼は、火山性物質や湖底のコケといった要因で沼ごとに異なる色彩をもつだけでなく、同じ沼であっても季節や天候、空の色、風、周囲の植物といった様々な要因でその色合いを変えます。訪れるたびに異なる表情に出会えるその独特な景観は、多くの人々を魅了してやみません。この美しい景色を堪能できる「五色沼自然探勝路」は、非常に人気の高い散策コースとなっています。



Photo: 荒尾一樹

自然/



ウカミカマゴケ

水中に生育するコケで、酸性の水質にも適応できるため、火山性物質を含む五色沼でも生育します。青沼・るり沼・弁天沼では、湖底にマット状の群落を形成し、五色沼の複雑な色彩の要因の一つになっています。

■青沼



火山が育む
恵みと試練磐梯の兄弟火山が
育んだ名水

磐梯山や猫魔ヶ岳には、古い時代の噴火によって形成された溶岩地形が広がっており、ここに雪や雨水が浸み込むことで、豊かな湧水が生まれます。山麓の森の落ち葉は、雪解け水や雨水を一時的にため込み、天然のろ過装置になります。こうして火山の地層と豊かな土壌により長い年月をかけてろ過された水は、「磐梯西山麓湧水群」として磐梯町の各地から湧き出しており、「日本名水百選」にも選ばれています。

この豊かな湧水は、飲料水としてだけでなく、米や野菜の栽培といった農業、日本酒やそば、みそ、豆腐といった特産品、さらにはレンズ等の光学機器製造などの産業にも広く利用されています。





オススメの場所や体験

＼自然／



龍ヶ沢湧水

猫魔火山の噴出物である溶岩流の末端部に位置し、「日本名水百選」に選ばれている龍ヶ沢湧水は、干ばつに見舞われても決して枯れることがないといわれています。古代から太平洋戦争直後まで、度々雨乞いが行われており、特に江戸時代には会津藩の命により、大規模な雨乞いが行われました。今もなお、この地区の人たちが清掃して守り伝えています。



＼見る／



磐梯山慧日寺 資料館

龍ヶ沢湧水から引水した水くみ場があり、湧水を飲むことができます。また、龍ヶ沢湧水でかつて行われていた雨乞いに使用した道具や、資料が展示されています。



＼文化／



名水の町磐梯

猪苗代と会津盆地の中間にあたる磐梯町は、磐梯山麓からなだらかに広がる丘陵地にある高原の町です。山々の恵みにより、町には湧水が点在しており、「名水の町磐梯」として知られています。



火山が育む
恵みと試練

2度の噴火が裏磐梯の変化に 富む生態系を作った

裏磐梯では、約4万年前と1888年の2度の噴火によって水位や地質に変化が生じ、それぞれ異なる環境が形成されました。その結果、さまざまな環境に多様な動植物が生息・生育する豊かな生態系が築かれています。

湖沼や川などの「水辺」、湿原やヨシ原などの「湿地」、また「湿性林」、流れ山にアカマツなどが生育する「若い林」といった噴火の影響を受けた環境が存在する一方で、噴火の影響をまぬがれたブナを中心とした「安定した森」も存在し、多種多様な生物が生息・生育しています。





オススの場所や体験

体験/



雄国沼湿原植物群落

雄国沼湿原の湖面は標高1,089~1,090 mの位置にあり、約50万年前の猫魔ヶ岳の火山活動によって誕生したカルデラ湖です。1957年に国の天然記念物に指定されており、数多くの湿原植物を観察できます。6月中旬にはワタスゲ、レンゲツツジが見られます。6月下旬~7月上旬はニッコウキスゲが一面に咲き広がり黄色のじゅうたんを敷き詰めたようです。観光客や多くのハイカーが訪れます。また、秋には草紅葉が楽しめます。



変化に富んだ環境に生きる希少な生き物たち

自然/



アマゴイルリトンボ

オスは成熟すると斑紋が青くなり、複眼はコバルトブルーになるととても美しいトンボです。青森県、山形県、新潟県、福島県、長野県の5県でしか発見されていません。



自然/



バンダイクワガタ

磐梯山の名を冠した高山植物。6月中旬頃から下旬にかけて、小さな薄紫色の花をつけます。福島や山形、秋田の亜高山から高山にかけての岩場に生育します。



大噴火で失われた記憶と再生
磐梯山が育む癒やしの温泉地

かつて、磐梯山の北側には、湯治場として親しまれた温泉が3か所存在していました。1648年に開湯したと伝えられるこの湯治場は、江戸時代には多くの人々が病を癒し心身を休めるために訪れ、大いに賑わいを見せていました。しかし、1888年(明治21年)に発生した磐梯山の大噴火により、この一帯は壊滅的な被害を受け、3つの湯治場もすべて消滅しました。

現在、磐梯山の周囲に点在する温泉地では、硫黄泉、炭酸泉、塩泉、単純泉など多様な湯が湧き出し、訪れる人々に深い癒しと安らぎを提供しています。磐梯山の厳しくも美しい自然とともに生きる温泉地は、過去の記憶を静かに受け継ぎながら、今なお人々の心と体を温かく包み続けています。





オススメの場所や体験



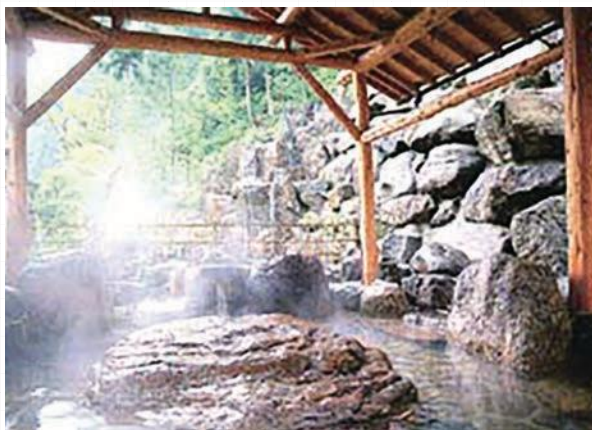
■ 中ノ沢温泉

温泉/



大塩裏磐梯温泉

別名「塩姫の湯」と呼ばれ、塩分を多く含んだ泉質が特徴の塩化物泉。今から120年ほど前に、弘法大師が一夜の宿の厚意に報いるために塩水を湧出させたという古い伝説を持つ温泉で、地層に含まれる太古の海水成分を含む温泉水を煮詰めて採る会津山塩が作られています。



温泉/



中ノ沢温泉

毎分約13,400リットルの湯が湧き出る、とても豊富な湯量を誇る温泉です。泉質は硫黄の含有量が多い強酸性泉。天然温泉のため、日によって温泉色や温度が変わることもあります。



神の山としての磐梯山
神仏融合が生み出した地域文化

磐梯山は古くから人々の信仰と精神文化の中心として、深い敬意と畏敬の念を集めてきました。磐梯山周辺には、1700年の歴史を持つ磐梯神社（いわはしじんじゃ）や磐梯山を神の山として祀る磐梯神社、保科正之公を祀った土津神社など、数多くの神社が祀られています。

また、神聖な山である磐梯山では仏教文化も発展しました。平安時代に開かれた慧日寺は、会津地方における仏教文化の発祥の地ともいえる存在です。いまは、かつて慧日寺があった場所が史跡慧日寺跡として復元整備されています。

こうした磐梯山を中心とする信仰の歴史は、単に宗教的な営みとしてだけでなく、人々の暮らしや地域のアイデンティティにも深く根差しており、今もなお年中行事や文化財、伝統芸能などの形でその精神が息づいています。





オススメの場所や体験

＼参拝／



磐梯神社(いわはしじんじゃ)

この神社は、西暦270年頃に創建されたと伝えられており、永い間会津の人々の心の拠り所となってきました。磐梯山が会津の里に豊作をもたらす神として、神体山崇拝の神社として信仰されています。磐梯まつりでは、この神社で採火された御神火が、おまつり広場に運ばれます。



＼参拝／



磐梯神社(ばんだいじんじゃ)

磐梯山を神の山として、磐梯明神を祀る神社です。明治政府の神仏分離政策によって独立社格を持つまでは、慧日寺の守護神として、慧日寺創建以来、慧日寺境内に祀られていました。慧日寺の伝統行事「舟引きまつり・巫女舞」は磐梯神社に引き継がれ、毎年春分の日に境内で行われています。



＼参拝／



土津神社(はにつじんじゃ)

会津藩祖・保科正之公を祀った神社です。正之が1672年に亡くなると、遺言通り神社が造営されました。創建当初の神社は戊辰戦争の時に焼失しましたが、1880年に現在の社が建てられました。境内にある石碑は日本最大のもので、高さ7.3m、重量30tもあります。



＼温泉／



史跡慧日寺跡 (しせきえにちじあと)

慧日寺は、平安時代の初めに南都法相宗の高僧「徳一菩薩」によって開かれた寺院です。東北では開基が明らかな寺院としては最古で、会津地方における仏教文化の発祥の地ともいえる存在としても知られています。広大な寺跡は昭和45年に国の史跡に指定され、復元整備が進められており、2017年から一般公開されています。



火山の脅威を乗り越えて
命を守り森を甦らせた人々

1888年の磐梯山の噴火は、周囲の集落に甚大な被害をもたらし、477名の尊い人命を奪いました。噴火によって荒廃した磐梯山麓には、日本赤十字社が国内で初めて「平時災害救助活動」として医師3名を派遣し、戦争以外で初の救護活動が行われました。また、芳賀栄次郎ら帝大医学部の大学院生も私費で現地に駆け付け、日赤治療班の治療を引き継ぎ、懸命に人々の救護にあたりました。

様々な支援を受け、地域では自然環境の再生にも多くの人々が取り組みました。これらの取り組みが、現代の美しい裏磐梯の景観を形づくるとともに、住民の自然保護意識の礎となっています。





オススメの場所や体験

見る/



磐梯山噴火記念館

1988年に、磐梯山の噴火100年を記念して開館しました。火山について楽しく学べる施設であり、磐梯山の噴火をメインに、磐梯の地形や地質、歴史、自然に関する展示を行っています。



歴史/



遠藤現夢

磐梯山の噴火により荒野となった裏磐梯では、数多くの人々が植林に尽力しました。遠藤現夢は植林事業の最前線に立ち、全線開通したばかりの鉄道線路を利用して、会津若松市から苗木を運び、数十万本の植林を成し遂げました。遠藤現夢の墓は、五色沼探勝路から5分ほど外れた場所にあります。

■ 現夢の植林した木々は裏磐梯の風景を作っています



歴史/



「日本赤十字社平時災害救護発祥の地」の碑

1888年の噴火より、一瞬にして荒廃の地となった磐梯山麓では、当日夕方から役場、警察が救助活動、捜索を開始。噴火から6日後には日本赤十字社が国内初の「平時災害救助活動」として医師3名を派遣し、初の戦争以外の救護活動が実現しました。噴火から100年の1988年に、毘沙門沼入口に噴火百周年記念の「日本赤十字社平時災害救護発祥の地」の碑が建立されています。



見る/



桧原歴史館

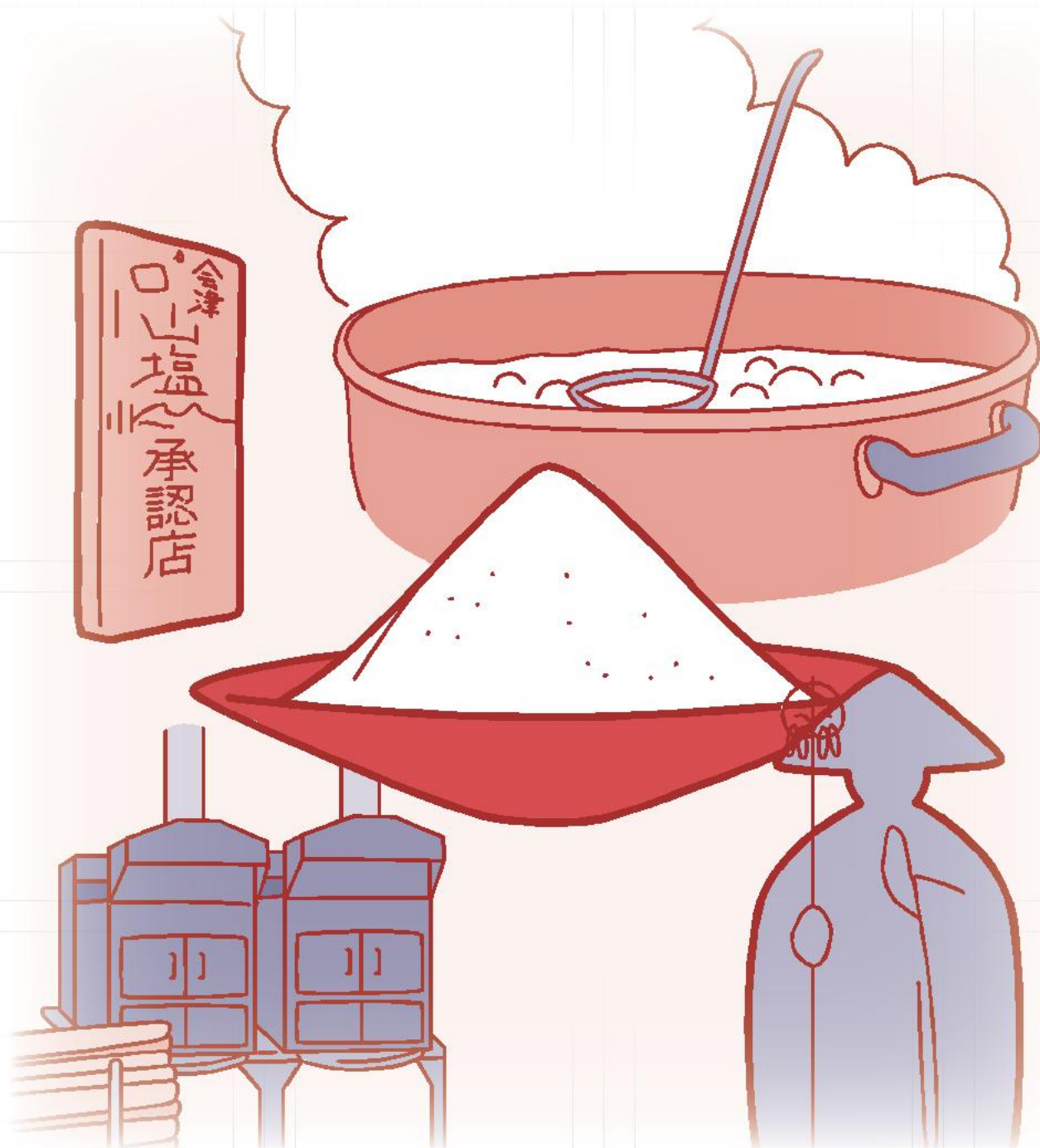
会津米沢街道の役割と人々の生活などを紹介する歴史館です。建物は桧原地区検断を務めた家の家屋を移転し、歴史資料館と食事処として活用しています。館内では、旧米沢街道の概要や木地師、鉱山などについて、資料や写真とともに解説された展示があるほか、桧原湖に水没した桧原宿跡のジオラマや、湖底から出土した陶磁器類も展示しています。



地下に眠る古の海水が会津山塩となり
甦る復活した伝統の山塩作り

磐梯山のふもとにある大塩裏磐梯温泉は、「グリーンタフ」と呼ばれる地層に閉じ込められた海水の成分が、高温の地下水に溶け出した源泉です。長い年月で海水成分は変質し、海水とは異なる特殊な泉質になりました。この温泉水をじっくりと煮詰めて作る「会津山塩」は、海水を直接結晶化させて作る「海塩」よりもまろやかで、角が取れた味わいとなります。

「会津山塩」は、江戸時代には会津藩に納められ、明治時代には皇室にも献上されたという、由緒ある塩です。しかし、塩の専売制度などの影響で生産はいったん途絶えてしまいました。その後、70年の時を経て村おこし事業をきっかけに、地元有志が山塩の試験製造を開始。試行錯誤の末、ようやく安定した生産が可能となり、本格的な製塩が再開されました。その風味と品質の高さが評価されています。





オススメの場所や体験

文化/



会津山塩

大塩裏磐梯温泉の温泉水を煮詰めて作られる「会津山塩」は、すべての工程が手作業で行われています。まず山塩特有のまろやかなうまみが広がり、その後にしっとりとした塩味が訪れる独特の風味が特徴です。素材本来の味を引き立ててくれるため、野菜や天ぷらにひと振りするなど、シンプルな食べ方がおすすめです。

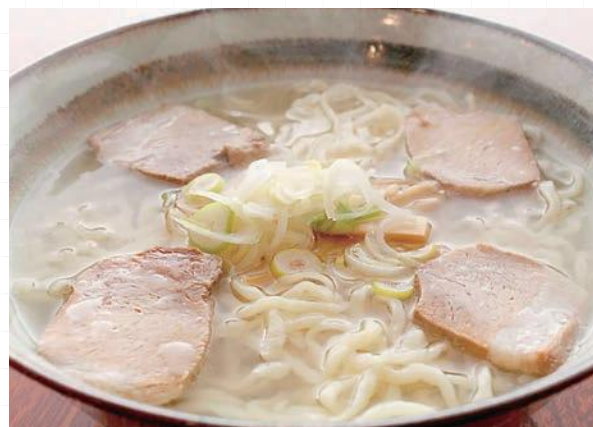


食べる/



会津山塩ラーメン

会津山塩を使った山塩ラーメンは、にがり成分の多い海水の塩とは違うまろやかな味が特徴です。キラキラと透き通ったスープは口当たりがあっさりとしていますが、しっかりとした旨味を楽しめます。



1. 汲み出し

温泉神社の参道わきの源泉から、タンクに汲んで運びます。



2. 煮詰め

薪窯で4～5日かけて煮込み、塩分濃度を20%程度まで上げていきます。



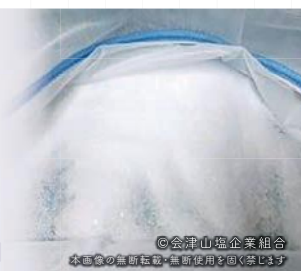
3. 塩取り

高濃度の温泉水をさらに煮詰め、やがて結晶となり沈殿する生塩を丁寧に網ですくいあげる。100リットルの温泉水から約1kgの山塩ができます。



4. 乾燥

脱水機にかけ、さらに残された余分な水分を自然乾燥します。



5. 品質検査

不純物は目視で取り除きます。



6. 商品化

用途に合わせて瓶や袋に詰めます。



火山・湖沼の
国に飛び込む

水面を漕ぎ雪原を駆ける 磐梯二つの季節

磐梯山周辺では、四季を通じてさまざまなアクティビティを楽しむことができます。

グリーンシーズンは、水辺のアクティビティがおすすめ。桧原湖や曾原湖では、カヤックやカヌー、SUP等で美しい湖水をゆったりと満喫しながら絶景の中に飛び込めます。

ウィンターシーズンの最大の魅力は、なんといってもその雪質。表磐梯はしっとりした雪、裏磐梯はパウダースノーと雪質の違いが楽しめます。全面結氷した桧原湖ではワカサギ釣り、スノーシュートレッキングで爆裂火口付近に行くと、火口壁から染み出した水が凍りついた黄色い氷瀑「イエローフォール」が姿を見せます。





オススメの場所や体験

体験/



カヤック・カヌー

裏磐梯の定番アクティビティ。桧原湖では、専門のインストラクターと一緒に湖上をカヤック、カヌーで巡るアクティビティが人気です。湖上からは磐梯山を一望できる大パノラマが広がります。

■カヌー



体験/



SUP(サップ： スタンドアップパドルボード)

初めてでも手軽に楽しむことのできる裏磐梯の定番アウトドアスポーツ。カヌーやカヤックよりも水との距離感が近く、よりダイレクトに水を感じることができます。桧原湖や、他の大きな湖より静かで穏やかな曾原湖で体験することができます。

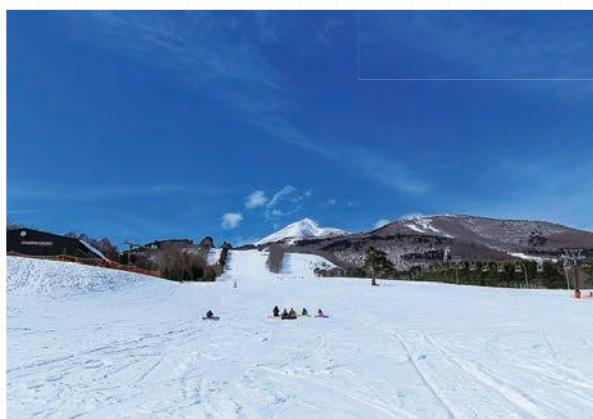


体験/



スキー・スノーボード・ 雪遊び

磐梯山はスキー・スノーボードなどのウィンタースポーツが盛んなエリアです。しっとりとした雪質の表磐梯と、極上のパウダースノーが楽しめる裏磐梯。年齢を問わず誰でも雪遊びができ、自分の好みや目的に合わせて、最適なフィールドを選べるのが魅力です。



自然/



イエローフォール

磐梯山の爆裂火口にできる、凍り付いた黄色い巨大氷瀑です。氷瀑といっても、夏に滝があるわけではなく、噴火口壁からしみ出す水が冬になると少しずつ凍り、大きな氷の滝「イエローフォール」が形成されます。そのため、幻の氷瀑とも呼ばれます。イエローフォールに行くにはウィンタースポーツに適した服装・スノーシューの準備が必要となります。初めての方はガイドツアーにご参加ください。



関連メディア

喜多方観光物産協会

観光協会
・
DMO等

問合先 一般社団法人喜多方観光物産協会

電 話 0241-24-5200

HP



会津17市町村の観光情報 -極上の会津

協議会

問合先 極上の会津プロジェクト協議会

電 話 0242-39-1251

HP



磐梯山噴火記念館

その他
拠点

問合先 磐梯山噴火記念館

電 話 0241-32-2888

HP



猪苗代観光協会 猪苗代・磐梯

観光協会
・
DMO等

問合先 一般社団法人猪苗代観光協会

電 話 0242-62-2048

HP



Bandai Kankou Official

観光協会
・
DMO等

問合先 磐梯町観光協会(磐梯町商工観光課)

電 話 0242-74-1214

HP



湖沼の国 裏磐梯 -裏磐梯観光協会-

観光協会
・
DMO等

問合先 裏磐梯観光協会

電 話 0241-32-2349

HP



磐梯山ジオパーク

ジオパーク

問合先 磐梯山ジオパーク協議会

電 話 0241-32-3180

HP



NPO法人 裏磐梯エコツーリズム協会

その他
拠点
・
サイト

問合先 NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会

電 話 080-2827-1687

HP



道の駅猪苗代

その他
拠点

問合先 道の駅猪苗代

電 話 0242-36-7676

HP



道の駅ばんだい

その他
拠点

問合先 道の駅ばんだい

電 話 0242-74-1091

HP



道の駅裏磐梯

その他
拠点

問合先 道の駅裏磐梯

電 話 0241-33-2241

HP



裏磐梯ビジターセンター

ビジター
センター

問合先 裏磐梯ビジターセンター

電 話 0241-32-2850

HP



裏磐梯サイトステーション 森の駅

その他
拠点

問合先 裏磐梯サイトステーション

電 話 0241-32-2411

HP

